

(2) 乳房炎予防

乳房炎を防ぐためには乳房を汚さないことが重要です。除糞が不十分だと乳房が汚れ、乳頭口から細菌が侵入しやすくなり、乳房炎にかかりやすくなります。また、乳房炎予防のために除糞後に専用の石灰資材を散布することも効果的です。



写真9 乳房炎になるかも

(3) 糞（栄養状態）の観察

糞の状況から乳牛の体調を知ることが出来ます。糞の柔らかさや色などから判断します。農場内での正常な糞の状態を確認しましょう。



写真10 標準的なかたさ



写真11 いつもよりやわらかい？



写真12 黄色くて穀類がいっぱい

(4) 繁殖・歩行の観察

除糞作業中、乳牛の様々な行動に目を向けることも重要です。繁殖行動については粘液や排血などの発情行動（25ページを参照）に注意して観察しましょう。

歩行についてはいつもと違う歩き方（背中を丸めて歩いているかなど）をしていないか注意して観察しましょう。



写真13 跛行（背中を丸めて歩く）

3 敷料入れ

(1) 敷料入れの目的

敷料を使うことには次のような目的があります。

- ・クッション性の確保
- ・起き上がるときの滑り止め
- ・牛体の汚染を防止
- ・牛床の水分を吸収し乾燥させる
- ・肢や蹄などを擦れから保護する
- ・保温や断熱



写真14 敷料たっぷりで牛体も綺麗

敷料をうまく使うことによってこれらの効果を最大限に引き出すことができます。敷料が少ないときの牛のサインは次のとおりです。

- ・牛体の汚れが目立つ
- ・飛節が擦れたり腫れる（写真15）



写真15 飛節が擦れたり、腫れている

(2) 敷料の入れ方

敷料は牛床全体に入れることが基本になりますが、量が確保できないときは使い方を工夫しましょう。

ア 敷料が十分確保できる場合

できるだけ凹凸をなくし、牛床全体にまんべんなく平らに敷きます。

イ 敷料が十分確保できない場合

糞で汚れやすい乳房から尾尻にかけて敷料を入れます。特に乳房付近を保護してあげることが重要になります。

敷料がない場合、牛床の水分と乳頭が接触し易くなることにより、乳房炎感染などの危険性が高まります。



写真16 乳房の周りを綺麗にしている

ウ フリーストールの場合

フリーストールの場合はブリスケットボードを多量の敷料で覆ってしまわないようにします。牛床全体を敷料で覆ってしまうと、牛が前方に行きすぎたり斜めに寝てしまうことがあるため、ブリスケットボードが常に見えるようにしましょう。



写真17 ブリスケットボード



写真18 斜めに寝てしまう

